4月から従業員の賃上げ

運賃上昇分を還元

金田運輸
金田知浩社長

【群馬】建設機械の部材などを輸送する金田運輸（金田知浩社長、佐波郡玉村町）は4月から、従業員の賃上げを実施する。賃金の引き上げ率は平均10％で、人材の流出阻止を図る。

同社では賃金の引き上げに向け、1年前から本格的な運賃交渉を

引上率は平均10％

スタート。運賃交渉では20％アップを目標に、荷主企業と根気強く話し合いを重ねたという。金田社長は「24年問題や燃料費高騰などが社会問題として認知され、交渉の追い風になった」と振り返る。

「予想よりスムーズにまとまった」という交渉の結果、平均10％の運賃値上げが実現。4月からほとんどの荷主との取引で、新しい運賃が適用となる。

金田社長は「物価が高騰を続ける中、社員の生活を守るために運賃値上げは必須だった。荷主にもそのことを伝えて、理解を示してもらえた」と話す。

業界全体の課題となっている人手不足を念頭に「今後は人材の採用、育成にも力を入れたい」と強調する金田社長。「賃上げは一段落したものの、やるべきことはまだまだ残されている。ドライバーの地位向上に寄与する取り組みもできた」と明かした。

（佐藤晋介）

健康経営を考える

トラック合同安全衛生委員会　合同安全衛生委

【東京】トラック合同安全衛生委員会（及川健康管理士事務所運営、江東区）は8日、都内で、第74回運輸合同安全衛生委員会を開催。

今回は特別イベントとして、ゲスト参加者を招き「会社と社員の健康～幸せ～づくりセミナー」を執り行った。同委員会は、「目指せ100年企業！　会社と社員を豊かに健康にする」をテーマに運送業数社（サイショウ・エクスプレス、丸橋運送店、フコックス）で6年以上継続して開催している、シェアリング産業医と共に会社と社員の健康を考える社長の会。

及川代表

ゲスト参加者には運送会社7社が参加し、健康経営についての学びを深めた。

主催者挨拶で、及川健康管理士事務所の及川寿彦代表は、「この運輸合同安全衛生委員会は発足以来6年半の間、毎月1回も休むことなく開催され、おかげさまで74回目を迎えることができた。委員会メンバーからこれまでの活動を披露いただき、ゲストの皆様にはぜひ参考にして持ち帰ってもらえれば幸い」とあいさつを述べた。

委員会の様子

講話では日本産業医協会会長を務める佐野正行医師／産業医が、「2024年問題到来！　人材定着・人材確保に向けた健康経営のメリット」をテーマに登壇。産業医導入のメリットをはじめ、医師の視点から考える健康経営のポイントについて解説した。

委員会メンバー発表では、フコックスの鎮目隆雄社長、丸橋運送店の高橋伸明社長、サイショウ・エクスプレスの齋藤敦士社長が登壇し、各社の健康経営・労働環境改善への取り組みを紹介。健康経営に取り組むに至った経緯やその効果等についても言及し、参加者からの質疑応答に応えた。懇親会では参加者が積極的に情報交換を行い、交流を楽しんだ。

（越後桃子）

エース／経営方針説明会

「ピンチはチャンス！」

全国展開目指す

林会長

【北海道】エース（林博己会長CEO、石狩市）は7日、札幌サンプラザで「エースグループ2024年度経営方針説明会」を開催した。初回となる今回は「道央エリア」を対象とし、175人が参加。パートを含めた全従業員が参加し、今年度の経営方針や事業運営方針などを確認・共有するもので、道内各エリアと本州エリアでも今後、順次開催していく。全従業員に向けて同説明会を開くのは5年ぶり。

今年度は経営方針を「ピンチはチャンスだ！　さあ、ワクワクしよう…」、スローガンを「日はまた昇るLet，s try！（まずやってみよう）」とそれぞれ設定した。

林会長は、「今後、中国地方や九州の南端までエースや関連会社の車が走るよう、拠点を展開していきたい。倉庫・物流センター部門では現在、宮城県大衡村に第10センターを建築中で9月末頃に完成の予定。順調に業容を拡大している」と現状を説明。

続けて、「エースでなければダメ」と言われるよう「高高度」な人材採用とサービスの提供をするとし、「2025年度に売上高2000億円とし、磐石な体制を構築する」と示した。また、新たな取り組みとして「ドローン輸送」と「外国人労働者の活用」に着手すると述べた。

中野政嗣社長は「物価高騰より消費者の買い控え・節約が続き、物量が落ちたため、輸送部門は苦戦中。一方、倉庫・センター部門は通過する商品の単価が値上がりした影響で好調。全部門合わせて売上高は前年度より2％、利益は10％増益。今後も社会全体の節約志向が継続し、輸送部門の低迷はすぐに変えられない。緊張感を持って臨む必要がある」と述べた。

また、2022年度後半に実施した大規模研修の結果、その後2か月間、事故とクレームが発生しなかったことから、「今年度は事故防止撲滅元年と捉え、安全に対する関心をより高めてほしい」と呼びかけた。

（玉島雅基）

青森県弘前市　トラック等運送

申請期限は6月30日まで

【青森】青森県弘前市は、エネルギー価格の高止まりや物価高騰の影響を受けているトラック等運送業者（一般貨物自動車運送事業者、特定貨物自動車運送事業者及び貨物軽自動車運送事業者）の事業継続を図るため、市内を拠点として使用されていると認められる車両台数に応じて支援金を給付すると発表。申請期限は6月30日

交付対象者は事業所等を有して、トラックに営んでいる法人または個などの条件が車両は、令和点で登録され自動車検査証位置の欄に弘

各地で春の

東ト協深川支部　小学生に交通

富岡2丁目交差点での街頭活動の様子

【東京】東ト協深川支部（高取言彦支部長）は、春の全国交通安全運動中、江東区内の4か所の交差点で歩行者誘導を行った。例年、同支部では、深川警察署の協力を得て、歩行者誘導を行っている。今回は、東駅前、深川5富岡2丁目、前の4か所の交で行われた。

高取支部長国的に死亡事えていること

し、警察ではことから故は、転車クボ利用えて

その通安

50万円を

群ト協　犯罪被

【群馬】犯罪被害者の支援に役立ててもらおうと、群トラに寄付金50万協（武井宏会長）は贈った。武井会